

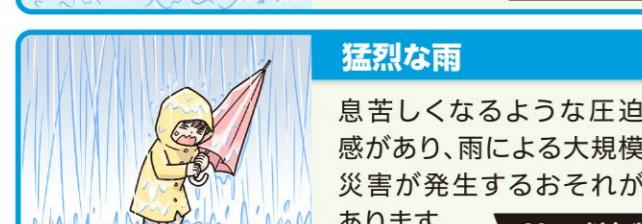
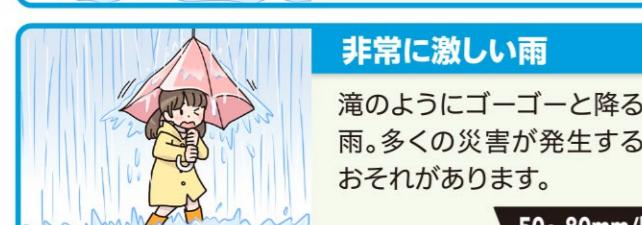
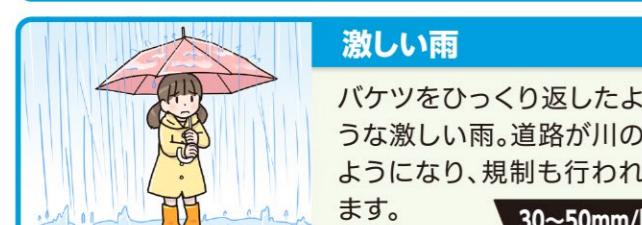
その他災害編① 「風水害・土砂災害」

風水害や土砂災害は、急激に状況が変化する場合があります。
異変を感じたら、すぐ避難しましょう。

○ 風雨による危険度のチェックポイント

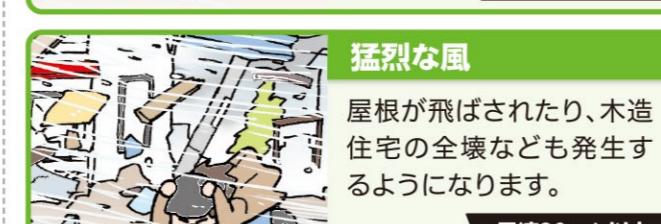
▶ 1時間雨量による雨と被害の目安

※降水量が1時間1mmとなる水の量とは、1m²の面積に1mm(1リットル)降ること。



▶ 風と被害の目安

※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍~3倍以上になることがあります。



防災ひとくちメモ②

気象情報の確認は「キキクル」で！

気象庁が提供する「キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布)」を使用して、大雨時の災害発生危険度の高まりを地図上で隨時確認することができます。

キキクル



○ 土砂災害の前ぶれ現象に注意

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときに発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。



土砂災害警戒情報とは

大雨により土砂災害発生の危険度が高まった市区町村に出されるものです。

雷や竜巻に備える



雷鳴が聞こえたらすぐ避難

- 雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。
屋外にいる場合は、安全な場所に避難しましょう。



頑丈な建物の中へ避難

- 避難するときは飛ばされた看板などの飛来物に注意しましょう。
- 避難できない場合は、物陰やくぼみに身を伏せましょう。
- 車庫・物置・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険です。

建物の中や自動車へ避難

- 建物や屋根付きの乗り物(自動車など)へ避難しましょう。
- 雨宿りで木の下に入るものは危険です。



木や電柱から4m以上離れる

- 木や電柱に落ちた雷から放電するおそれがあるので、4m以上離れましょう。
- 近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。

